

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・健康 I	演習	1	
授業のテーマ及び到達目標 幼児期の心身の健やかな発達について考える。 目標：健康指導の基礎知識を学び、様々な場面で応用できる視点をもつこと。 発育・発達の状態に対する援助の基本や保育者としてのあり方などの基礎を学ぶ。			
授業の概要 幼稚園教育要領および保育所保育指針における、心身の健康に関する領域「健康」に示された観点から、乳幼児期の健康教育の基本的な理論の理解を深めていく。			
全体の授業計画・内容			
1. ガイダンス			
2. 領域「健康」がめざすもの			
3. 幼児の健康			
4. 幼児の発達理解①発育発達の概念、胎児の発達と健康、乳幼児の体格と生理機能の発達			
5. 幼児の発達理解②運動機能の発達、心の発達と健康、人間関係・社会性の発達と健康			
6. 幼児のあそびの発達と健康①あそびの発達過程			
7. 幼児のあそびの発達と健康②幼児に伝承あそびの楽しさを伝える			
8. 幼児の体格・運動能力の現状と問題			
9. 幼児の生活スタイル①幼児の生活スタイルの現状と問題点			
10. 幼児の生活スタイル②幼児の生活習慣の自立と指導			
11. 幼児の体格・運動能力測定法と評価			
12. 幼児の安全管理と安全教育			
13. 応急処置法			
14. 運動体験を広げる体育的行事			
15. まとめ			
準備学習の内容			
予習のあり方：メディア等で報じられる子どもの問題について関心をもつ。			
学習のあり方：常に保育者としての立場を意識しながら学ぶ。			
復習のあり方：子どもの心身の発達を理解するために子どもに接する機会をもつ。			
成績評価			
試験・レポート(60%)、受講態度(30%)、提出物(授業後の感想など)(10%)			
テキスト			
参考文献			
適宜、紹介する。			